

## 身障協会に入会して、交流の輪を広げませんか！

### ～熊野町身体障がい者福祉協会～

熊野町では令和元年に「いのちをつなぐ手話言語条例」を制定しました。手話への理解と普及を通して障がい者の社会参加の促進に努めています。



住川昌満会長(左)と森山俊恵さん(中央)

**Q** 会の紹介をお願いします。

**A** 私たちの会は、身体障害者手帳（身障手帳）を持つ者が相集い、親睦を通して励まし合いながら、障がい者の自立と社会参加を目指して活動しています。また、行政や関係団体と連携して、障がい

者福祉施策の拡充にも力を入れていきます。  
会員は、令和4年2月現在103名います。

**Q** 活動内容を詳しく教えてください。

**A** 年度初めに会のみんなで年間活動計画等を話し合う福祉大会（総会）を開催しています。  
最も力を入れている活動は、親睦と研修を兼ねた日帰りバスハイイクです。県内外の福祉施設や観光施設などを視察し研鑽を図っています。

昨年からはタブレット講習会を始めました。私たち障がい者こそIT機器を積極的に活用し、社会との繋がりをもちつことが大切です。

広島県身体障害者団体連合会主催の水泳大会や陸上競技大会にも参加しています。スポーツを通じて障がい者同士の交流を図っています。

**Q** 活動にあたって課題などがあれば教えてください。

**A** 会員の高齢化と入会者の減少が課題です。コロナ禍で活動に制限を受けてしまっていることが要因の一つです。

**Q** 今後の活動などを教えてください。

**A** タブレット講習会を継続して実施します。多くの会員の方に参加してほしいです。



真剣そのもののタブレット講習会

テレビドラマで好評だった『ヤンキー君と白杖ガール』のコミック本を会員に配布しました。やんちゃなヤンキー君と弱視の障がいをもつ白杖ガールのラブコメストー

リーですが、身体障がい者の家族の気持ちやバリアフリーな環境の大切さがしっかりと描かれています。会の研修会で活用しようと思います。

**Q** 町への要望があれば、教えてください。

**A** 身障手帳交付時に当協会への入会勧奨を積極的に働きかけてほしいと思います。私たちの会は会員資格である身障手帳所持者の個人情報を持ち合わせていません。町の協力こそが頼りです。

近年、自然災害が頻発しています。私たち障がい者は状況を把握したり、避難所への移動に不安を抱えています。防災無線や広報車の情報を受け取ることができない障がい者も多くいます。避難情報が確実に届くよう配慮をお願いします。

取材／中島数宜  
光本一也